

遠野と宮古を結ぶ復興支援の道 国道340号立丸峠工区着工

本市と宮古市などの沿岸被災地を結び、復興支援道路に位置付けられる国道340号の立丸峠工区(5.21km)の起工式は8月12日、宮古市小国(小国)の整備予定地で行われました。出席した事業関係者や地域住民ら120人は、早期整備に期待を寄せていました。

交通の難所で、発災前から本市や旧川井村などがトンネル化を県などに要望。平成24年に新規事業化され、悲願の着工となりました。式では、元の小国小学校の全校児童9人がトンネル掘削の号令を元気づけ掛けられたほか、関係者らが鉄入れなどを行ない工事の安全を祈願しました。

トンネル整備と道路改良を実施。平成30年度の完成予定で、本市と宮古市川井間を距離で約4km、通行時間で約6分短縮します。



工事の安全を祈り鉄入れする関係者ら



↑大学生らの教育プログラムに取り組み高校生

最後は大学生らと一緒に研究結果を発表。劇などを交えながら、独創性あふれるアイデアを披露しました



東大と世界の学生が遠野に集結 遠野高の生徒と未来を語る!

東京大と海外の大学の学生、遠野高の生徒が対話などを通じて遠野の未来を創造する「東京大イノベーション・サマープログラム2014」は8月10〜13日の4日間、遠野みらい創りカレッジを拠点に開かれました。

研究発表。遠野の自然や文化、住民の温かい人柄など、遠野の魅力を生かしたまちづくりについて提言しました。同日は、大学生が考案した教育プログラムにも取り組み、そのアイデアをさらに深めました。照井終君(遠野高1)は「東大生や世界の学生と交流する中で、自分の視野が広がった。この経験を自分の将来につなげたい」と目を輝かせました。

地域の宝をみんなでつなごう 「千葉家」活用を考える会が発足

国指定重要文化財千葉家住宅(綾織町)の活用について住民が主体となって検討する「千葉家の活用を考える会(会員28人、及川傳弘(ただひろ)会長)の設立総会は7月31日、綾織地区センターで開かれました。出席した会員や市関係者ら30人は、地域の宝を後世に伝えていくことを誓いました。

定したほか、見学会や有識者を講師とする研修会などの事業計画を承認。その後の意見交換会では、馬と共存した千葉家の暮らし方や、特異な土地、周囲の景観などを活用して地域振興につなげるべきといった意見が出されました。本田市長は「遠野の宝を守るため、地域の皆さまには次世代につながる活動を展開し



同会は、千葉家の見学会を開催します。詳しくはP28をご覧ください!

ていただきたい」とあいさつ。及川会長は「千葉家について詳しく知ることから始め、地域一丸となって活用を努めたい」と意気込みました。

農地の貸し手と借り手を橋渡し 中間管理事業の相談窓口設置

市は8月1日、市農業委員会事務局内に農地中間管理事業の相談窓口を設置しました。同事業は、高齢化などを理由に農業の経営転換やリタイアを考えている人から岩手県農業公社(農地中間管理機構)が農地を借り受け、新規就農を目指す人や、事業規模を拡大したい人にまとめて貸し出すもの。担い手への農地の集積・集約化を進めることで、

耕作放棄地の減少と農業の活性化が期待できます。相談窓口の設置に伴い、県市、JA、農業公社、土地改良区、農業委員会が組織する「同事業地域推進チーム」も設立。同チームは今後、連携しながら農地の集積を行い、地域の農業基盤の再構築を図ります。なお、JAいわて花巻遠野地区営農センター内にも相談窓口を設置しています。

昔話などの文化的価値を探究 遠野文化フォーラムを開催



「昔話と暴力」をテーマに昔話の価値について議論するパネリストら

遠野の豊かな文化的資源を生かしたまちづくりを考える「遠野文化フォーラム」(遠野文化研究センター主催)は8月23・24の両日、あえりあ遠野などで開催され、2日間で市民や学生ら270人が参加しました。

した山折哲雄顧問による基調講演に続き、シンポジウムを開催。赤坂憲雄(のりお)所長や橋本孝(たか)宇都宮大学名誉教授(名誉)日本 Grimm 協会(協会)会長など学識者6人が「遠野物語」とグリム童話を比較しながら、数多く描かれている残酷性の意味などについて探りました。

23日はあえりあ遠野で開かれ、遠野文化賞の表彰式、遠野遺産と語り部の認定証交付式、学識者による講演会とシンポジウムを実施。遠野の文化振興に貢献した人を紹介する遠野文化賞は、写真家で民俗学者の内藤正敏(ただとし)さん(76)が受賞しました。また、「昔話と暴力」をテーマに

新たに認定された遠野遺産
▷136熊野神社・六角牛大権現(上郷地区、有形)▷137正一位鑄物稲荷神社(宮守町達曾部、有形)▷138遠野郷南部田植え踊り(綾織町、無形)▷139遠野南部流鎗馬(松崎町、無形)▷140大峰鉱山跡とその周辺(上郷町、複合)▷141米田の熊野神社と御神木(宮守町達曾部、複合)
※番号は遠野遺産認定番号

知的障がいに関する 悩みをお寄せください

知的障がい者とその家族の相談などに応じる、知的障害者相談員の3人を紹介します。※任期は平成28年7月31日まで



本田市長(右)から委嘱状を受け取る相談員

※写真左から
松田光治(みつはる)さん(再任/附馬牛町、44歳)
菅田新一郎(しんいちろう)さん(新任/綾織町、60歳)
菊池昭夫(あきお)さん(再任/小友町、57歳)
◎問い合わせ
市障がい福祉係(☎62-5111内線18)

Voice

皆さまの声

市政なんでも相談箱(P2参照)に寄せられた意見・提言などを紹介します

ペットボトルの資源ごみへの出し方を、もう一度詳しく教えてください!(宮守町宮守)

回答 ペットボトルは、内部を洗浄後、外装とキャップを取り外してください。本体はペットボトルの日に、外装とキャップはプラ製容器包装の日に出してください。本体は、可能な範囲でつぶしていただければ、収集効率の向上につながりますので、ご協力をお願いします。(市環境課)

「野焼き」が大きな火災につながらないか心配です…。(早瀬町)

回答 野焼きには遠野消防署への届け出が必要です。届書を受理する際に従事者に対して注意喚起を実施しているほか、多発時期にはパトロールをして警戒にあたっています。無許可で実施している人も見られますので、今後も遠野テレビや広報遠野などで届け出の必要性などを周知していきます。(遠野消防署)